

知っておこう避難行動!

問 危機管理課(1階)
☎ 561・2325、FAX 561・6852

強風、大雨、洪水、高潮、津波などによる自然災害は、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしています。自然災害から身を守るためには、正しい知識を持ち、自分の身近な危険として、災害時にとるべき行動を、日ごろから身に付けておくことが重要です。

1 気象状況に気をつけながら 早めの対応をしよう

気象状況は、いつ変化するか分かりません。最新の情報を確認し、早めの対応を心がけましょう。家族や地域などで協力し合うことが、被害の抑制につながります。

近くの川の水位上昇に注意しましょう

河川の付近では早めの避難準備を

地域の水防活動は協力しましょう

洪水時の避難方法

- ・サンダルなどではなく、ひもやテープの運動靴をはく
- ・ロープやひもを使って、はぐれないように
- ・水の中を歩くときは、水底に注意
- ・腰まで水があれば、水の中は歩かない



滋賀県 防災ポータルもチェック!



2 風水害の事前の備え

- ・気象情報を聞く
- ・状況によっては、遠出や外出は中止
- ・避難場所を再確認
- ・マスク、アルコール消毒液などの感染症対策
- ・緊急速報メールを確認
- ・防災スピーカーなどの情報を聞く
- ・水や食糧などは、最低3日分を備える

洪水情報が緊急速報メールで発信されます!

緊急速報メールが届いたら、市からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。



\\始めよう!\\

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

家が場所にある場所の色が塗られていますか?

いいえ → 色が塗られていなくても、周り比べて、低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市の避難情報を参考に、必要に応じて避難してください

はい → 洪水の影響が少ない区域か頑丈な建物の上層階に住んでいる

いいえ → 安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか?

はい → 自宅に留まり安全確保することも可能 ※水や食糧などは、最低3日分を備えておく

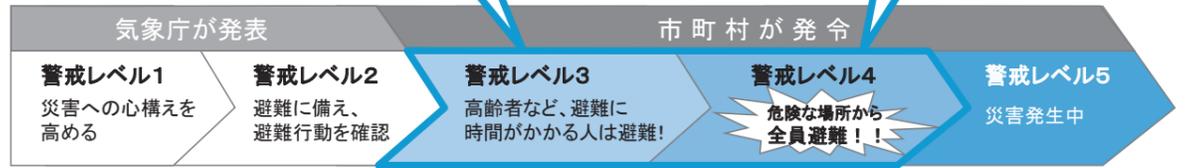
警戒レベル3、4が出たら 市が指定する避難場所に避難

警戒レベル3、4が出たら 安全な親戚や知人宅に避難 (日ごろから相談しておく)

3 避難行動を再確認しよう

避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで、避難所に行くと、かえって危険です。一次災害に巻き込まれる可能性があるため、安全な場所にいる人は、外出しないようにしましょう。

防災情報の警戒レベル



※情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。自らの判断で避難行動をとることも大切です

防災情報を積極的に取得しよう

- 屋外スピーカー 市内一斉緊急放送システム ☎0120-119-932
- ラジオ えふえむ草津 FM78.5MHz
- メール 市の登録制災害情報メールへ空メールを送信し登録 ☒kusatsu-touroku@sg-m.jp
- アプリ Yahoo! 防災速報 <https://emg.yahoo.co.jp>

